

## 分科会・研究会活動・年間活動報告 - 2014年6月度 ATIS 例会 -

6月18日、日立金属 高輪和彊館（品川）で、臨時総会で次年度幹事が承認された後、6月度の例会が開催されました。

今回の例会のメインは、分科会・研究会活動の最終報告でした。

ATISの例会は、経営者が主体の会議ですが、分科会・研究会活動は、実務者レベルが主体となって行なわれます。実務者が月1回程度会合を開き、研究テーマについて議論し、情報交換を行なって自己自身をブラッシュアップするとともに、各社の業務に活かすことを目的としたものです。現在、下記の分科会・研究会が活動を行なっています。

- ・調査分科会（特許調査に関する研究・情報交換：知財調査マンの集まり）
- ・知財分社経営分科会（知財分野特有の課題について意見交換：子会社経営者の集まり）
- ・コーポレートサポート分科会（労政・福祉に関する意見交換：子会社総務部門長の集まり）
- ・特許情報研究分科会（世界各国の特許情報そのもの、取り巻く環境などの研究：データベースベンダーとデータベースユーザーが半々の集まり）
- ・新興国の知財調査分科会（新興国の特許情報収集に関する研究・意見交換：新興国に興味のある調査員の集まり）
- ・若手による意見交換会（仕事への取り組み方に関する若手社員による研究・意見交換）

どの分科会・研究会も、充実した活動が行なわれ、ATIS会員同士の意見交換・情報交換が活発に行なわれている様子が、ありありと伝わってきました。

1年間、ひとつのテーマで議論することによってメンバー間の懇親が深まり、今後の活動にも活かされると思います。

今回の報告には、分科会同士が合同で会議を開くなど、分科会同士の交流が盛んに行なわれていることが印象深く残りました。経営者が主体の「知財分社経営分科会」と若手主体の「若手による意見交換会」がコンタクトしたり、特許情報研究分科会が開催する講演会に、他の分科会からメンバーが参加したり、分科会を超えた活動が行なわれていました。参加者にとって、とても有意義な報告会でした。

分科会の活動報告に先立って、シンポジウムが行なわれました。

ATIS参加各社が自社の紹介と経営課題を発表するものです。今回は、旭化成の子会社の旭リサーチセンターの担当でした。松村春雄氏が旭リサーチセンターの大変高度な内容の調査活動をご紹介いただきました。ATISメンバーにとって、とても有益で刺激的な情報だったと感じました。

例会の後、懇親会が開催され、熱い議論・意見交換に楽しい談笑が行なわれ、大変盛り上がりました。



分科会・研究会活動の最終発表風景